



三島大社夏まつり 三島サンバ「ヤー」

日本大学  
国際関係学部

# 校友会々報

第38号

静岡県三島市文教町 2-31-145  
日本大学国際関係学部  
校友会

## 平成十九年度 常任幹事会・幹事会開催

### ◎常任幹事会

平成十九年六月十六日（土）

十時三十分から、国際関係学部校舎十五号館一階一五一二教室において開催された。相田信次会長挨拶の後、会長進行により議事に移り、次の項目について田中由雄幹事長及び野田正人常任幹事会計担当から説明があり幹事会への議事等について、各項目ごと詳細にわたり審議された。

### ◎幹事会

平成十九年六月十六日（土）

十七時三十分から、常任幹事会に引き続いて開催された。齋藤聰常任幹事の司会で進行され、相田信次会長挨拶の後、議長団・書記が選出された。議長には瀬川宏常任幹事、書記には山瀬匠常任幹事がそれぞれ選出され、次の議事が審議された。

平成十八年度事業報告  
監査報告

役員に関する件

平成十九年度事業計画（案）  
平成十九年度予算（案）

総会係員について  
会報（第38号）掲載原稿

募集について  
総会（懇親会）会費について

### 一 各科活動報告

田中由雄幹事長から、平成十八年度事業報告がなされ、続い

て平成十八年度決算報告が野田正人常任幹事会計担当から報告、染谷徳昭会計監査から監査報告があり、それぞれ承認された。

役員に関する件として、校友への総会等の通知を密にするため、国際関係学部十一名・食物栄養学科十五名を幹事として、事務局から推薦があつた。

統いて平成十九年度事業計画（案）については田中由雄幹事長から、また平成十九年度予算（案）については野田正人常任幹事会計担当から提案され、審議の結果二議案とも承認された。

次に田中由雄幹事長から、会報（第38号）発行について今回は校友会奨学金授与者が六名となつたので募集をしないことでの報告がなされた。総会（懇親会）会費について現在、校友会への収入としては正会員及び準会員からの会費で運営しているが今後の校友並びに在学生への事業の拡大と資金確保を目指し提案され、審議の結果承認された。

その他として、相田信次会長から校友会本部会議についての報告がなされた。

## リーダーの育成に向けて



國際關係學部長

佐藤  
三武朗

校友の皆様におかれましては  
ご清栄のことと推察します。平素  
三島キャンパスの発展のために御尽  
力をたまわり、心から感謝を申し  
上げます。

校友会会報も38号の発行となり、改めて歴史と伝統を痛感する次第です。会報の発行は校友の皆様の心と心をつなぐ大切な役割があります。この場を借りて、学生のことで、教育研究のこと、また地域との結びつきなど、皆様にお伝えしたいと思います。

まず、学生のことです。ご存じの  
ように、教育を取り巻く環境には  
厳しいものがあります。しかし、学  
部の特色を出すことによつて、学  
生の確保には一応の目処が立つてい  
ます。今後も、学生指導に力を入  
れ、三島キャンパスに子供を預けれ  
ば安心だというご父母の信頼を  
勝ち得ようと思います。また、校  
友の皆様におかれましても、手塙  
にかけて育てたお子様を母校三島  
に送つていただければ幸いです。国際  
化時代を先取りして、昭和54年に

いまして、三島キャンパスで北京大學の楊教授による中国の歴史や文化や経済の講義がありました。対象は学生と二島市民です。またハワイ大学から先生方4名と学生5名を招待し、恒例の英語教育を実施しました。海外へ行かなくてはならないという制度は今後も、三島で外国の授業を聴講できるといふします。

姫柳である印伊ントの二両大学へ4名の先生方を派遣しました。印関係のテーマを英語で発表する機会は今後も増えると思います。夏には、サテライト・レクチャーと言いまして、三島キャンパスで北京大學の楊教授による中国の歴史や文化や経済の講義がありました。対象は学生と三島市民です。また、ハワイ大学から先生方4名と学生5名を招待し、恒例の英語教育を実施しました。海外へ行かなくて

育指導が評価されるよう頑張ります。

次に、教育研究についてです。毎年、国際シンポジウムを開催してきました。諸外国から講師をお呼びだし、国際安全保障などをテーマに盛んな討議を行いました。その成果は英文で発行しました。今夏は姉妹校であるインドのゴア大学へ4名の先生方を派遣しました。日本印関係のテーマを英語で発表する機会は今後も増えると思います。夏には、サテライト・レクチャーと言

人材の育成が、いつの世においても重要であることを、創設者の伝記から学びました。教職員が一丸となつて、21世紀を担う学生の指導に当たりますので、校友の皆様におかれましても、ご支援とご理解をよろしくお願ひ申し上げます。

査研究の成果に加えて人の教育の重要性を説きます。また法制の整備に力を注ぎ、結果として日本法律学校（日本大学の前身）が創設されます。

す。日本大学の創設者の山田顕義先生の伝記を読んでると、萩に生まれた先生は、吉田松陰の薰陶を受け、大きく目を海外に向けていたことが分かります。明治 4 年に岩倉具視を中心とした欧米遣欧使節団に参加しますが、帰国後は初期の目的である軍事制度の調査研究の成果に加えて、人の教育の重要性を説きます。また法制の整備に力を注ぎ、結果として日本法律学校（日本大学の前身）が創設されます。

では想像出来ない」と思いますが、大学が、この厳しさを乗り越えるために、教育のソフト・ハード面すべてにわたって、整備して改革を進めなければならなくなつております。そのもつとも大きな事柄は、学生が教員の授業評価を行うところまで来ております。国際関係学部も大学教育の原点としつかり見据え

よっては、生の定員割れといがかりで現実の問題となり、大学の存続にかかわってきております。今日大学のサバイバルということは、昭和の時代に学んだ校友の皆さんにとっては想像出来ないことと思います。大学が、この厳しさを乗り越えるために、教育のソフト・ハード面すべてにわたって、整備して改革を進めなければならなくなつております。そのもとも大きな事柄は、学生が教員の授業評価を行うところまで

現代社会の変化は、私たちの予想をはるかに超える速さで、しかも地球規模で変化しております。以前の大学は、象牙の塔として社会から直接的に影響を受けることなく、学問の府として存在しております。したがって、独立した存在から、現在の少子化といったことは、大学によつては学生の定員割れといったことが現実の問題となり、大学の存亡にかかわってきております。今日、大学のサバイバルということは、昭和の時代に学んだ校友の皆さんにと

## 国際関係学部の展望



國際關係學部事務局長

劍持宣弘

係といった分野の学部を創設した歴史を再確認する必要があります。グローバルに活躍できる多様な才能を持つた多くの学生を社会に送り出せる教育内容と教育システムを独自なものとして構築することが将来に向けて発展していくことになると思います。

日本大学国際関係学部は、地球のあらゆるところで、活躍できる人材を養成する教育に原点があると思います。わが国で最初に国際関係といった分野の学部を創設した歴史を再確認する必要があります。グローバルに活躍できる多様な才能を持つた多くの学生を社会に送り出せる教育内容と教育システムを独自なものとして構築することが将来に向けて発展していくことに

そのためには、国際関係学部の教育はどうあるべきか、どのような学生を受け入れるべきかを考えなければなりません。現在の偏差値を中心だけの入試から脱却して、人間としての総合的な評価が得られる教育をしていかなければならないと思います。

日本大学国際関係学部は、地球のあらゆるところで活躍できる人材を養成する教育に原点があると思います。わが国で最初に国際関

側の教職員と教わる、学ぶ側の学生との人間の直接的なかかわりによつて行われます。ところが、現代の技術文明社会にあつては、教育・研究活動に適した施設・設備が重要であります。教育目標・内容を明確に定めて、それにに基づく施設・設備があつて初めて教育・研究が出来ます。国際関係学部の施設・設備は老朽化しております。この問題を解決するために三島駅北口に新校舎建設計画を進めております。この計画は、将来の大学教育・研究施設としての機能はもとより、地域の皆さんとの連携がとれる施設でなければならぬと考えております。国際関係学部の将来にとって最重要事業計画として位置づけて、教職員の英知を集めて、遂行して行かなければならぬと思います。

こうした事業計画は、将来の国際関係学部を中心とする三島キャンパスのあり方を左右する事業であります。

情報報化社会にありますては、実態の伴わないものは意味をなさないであります。あらゆるところで国際関係学部の教育・研究活動が評価されるための創意工夫をしながら、改善・改革を進めていかなければなりません。それを日々実践していくかなければ厳しい現実を乗り越えていかないと思います。

校友の皆様のこれまで以上のご支援ご協力を願い申し上げます。

## 校友会の概要報告



国際関係学部校友会会长  
相田 信次

活動報告と国際関係学部校友会の状況報告を報告します。

①平成20年度校友子女入学試験

概要の発表(全学部の募集人員は133名(7月上旬))

②正会員年会費の預金口座振替(郵便局・民間金融機関)の開始

③教職員への正会員加入の要請

④平成19年11月12日(日)PM18:00より東京ドームホテルにて全国校友大会の開催(出席希望者は校友会事務局へ確認して下さい)

⑤一〇〇九年に日本大学創立二〇周年を記念して日本大学校友会館(日本大学が所有する土地)を設置する委員会の状況報告

⑥日本大学校友会ホームページの試作

(<http://members.jpc.com/home.ne>)

などの報告が有りました。

校友の皆様に於かれましては、日々ご活躍との事とお喜び申し上げます。

平素は国際関係学部校友会に対しまして格別のご厚情を賜わり衷心より感謝致します。早いもので私が会長職を仰せつかつてから

年が過ぎ本年度は会長になつての初めの国際関係学部校友会総会でしたが、平成19年度の議案は出席者全員の承認を頂き無事終了しました。引き続き懇親会に入り、来賓者は日本大学副理事長高田

邦道様、日本大学校友会本部事務部長石澤恒男様、国際関係学部学部長佐藤三武朗様、及び学部関係者各学部の校友会会长様の出席を頂き校友会員の皆様と和やかな語らいや余興として女性のデュエットの歌と踊りを鑑賞し盛況内に国际関係学部校友会総会が無事終了しました。

平成19年度の校友会の概要を報告します。

日本大学校友会(本部)の主な正顧問が平成19年7月14日(土)田信次校友会会长 柴田正顧問に於いて日本大学校友会本部より

会長在任中の功績を讃えられ謝状を授与されました。平成20年度より国際関係学部校友会の出席者は懇親会費として2,000円のご負担をお願い申し上げます。校友の皆様は校友会の発展の為に1人でも多くの卒業生に年一度の国際関係学部校友会総会への出席(参加)と正会員への加入登録して頂ける様にお誘い下さい。

私自身も、国際関係学部のお話になり卒業して早20数年になります。お世話になった感謝は忘れません。今では当たり前の国際関係学部も当時は大変珍しい学部でした。先生方の特徴ある授業、カリキュラム、国交が開かれたばかりの中国への海外研修、どれをどう

つあります。青木久尚先生の資源論でのユーモア溢れる説明や、氏家先生のハモニカ、今でも深く印象に残っております。授業後のクラス員連絡会議室でのひと時は懇いの場でもありました。

最近私の職場(結婚式場)にも国際関係学部の後輩が、土曜日、日曜日に婚礼のサービスのアルバイトに来ております。機敏な動きに私が学生時代に同じような動きが出来たか感心する事さえあります。日々の成長は早く4年後には遙しく成長して、卒業と同じに社会へと旅だつて行きます。

校友の皆さまにおかれましては

多方面でご活躍のほどお喜び申し上げます。国際関係学部国際関係学科1期卒業の宮下公雄と申します。国際関係学部校友会も、相田信次校友会会长 柴田正顧問が、西村美恵子顧問、田中由雄幹事長 他諸先輩のご尽力により活躍の場を他学部校友会との交流へと大きく移しております。三島同窓会から歴史と伝統を築き大きく発展させて下さる諸先輩方に深く感謝申し上げます。

事長 他諸先輩のご尽力により活躍の場を他学部校友会との交流へと大きく移しております。三島同窓会から歴史と伝統を築き大きく発展させて下さる諸先輩方に深く感謝申し上げます。

## 校友会に積極的な参加を



国際関係学部校友会副会長  
国際関係学部同窓会会长  
宮下 公雄

二〇〇七年新春恒例の第83回東京・箱根間駅伝が一月一・三日の両日に行なわれ日本大学は準優勝を果しました。来年こそは総合優勝に向けて選手達は練習に励んでいます。又国際関係学部の野球部と女子駅伝チームも来年度の全国大会へ出場出来る様に頑張って練習しております。前会長の柴田

正顧問が平成19年7月14日(土)田信次校友会会长 柴田正顧問に於いて日本大学校友会本部より

の情報を得る上でも問題を難しくしております。国際関係学部校友会事務局から卒業生一人一人を、友人の方を通して追跡できなくなっています。所在確認を現在では、国際関係学部ホームページへのアクセスしていただきリンクの部分から校友会の広場へと入り、お問い合わせに記入、ユーザ認証、ログインID及び、パスワードの発行と、セキュリティの問題で大変複雑な作業をしなければなりません。どうか同窓会への葉書が付いた際には、同期の友人の方に葉書が着いていない場合も多く見受けられますので、友人同士で誘い合い声かけによる皆さまの積極的校友会への参加をお願いいたします。最近の国際関係学部の同窓会ですが、20歳代、30歳代と走り続けて中々参加出来なかつたメンバーが、同窓会を機に集まり校友会を盛り上げて下さるケースも増えております。どうか皆様、国際関係学部を作っていたいた、諸先生、諸先輩方の志に報いる為にも、世界中でグローバルに活躍され、たまには古巣、国際関係学部同窓会にも顔を出してもほしいと思います。

培った経験、技術を国際関係学部の同窓生で育み更なる国際関係学部発展に皆様の力の結集し全力で寄与していただきたいと思います。

合格後も、その気が無かつたわけでから、他大学を受験して不合格すから、これが出てきます。当然、本科へ編

## 校友との出会い



国際関係学部校友会副会長

### 弓場 重明

校友の皆さん今日は。現在国際関係学部校友会の副会長を務めさせていただいております弓場です。

今回原稿依頼があり、私が今ここにいる存在証明みたいなお話をさせて頂いてご挨拶とさせて頂きます。

私は、弓場重明、生まれた場所は三島、生年は昭和二十五年です。今年の七月で五十七歳になります。人生で今が一番充実しております。

思い起こしますと昭和四十三年の四月、地元の薦高から、当時の日本大学(三島)短期大学部工科建築に入学を許可されました。実は、入学するつもりが全然無く、親の薦めで受験しました。機械工学科志望でしたが、「どうせ行く気が無いのだから」と建築科でも受けてやれ

そんな気持ちで受験をしました。合格後も、その気が無かつたわけでから、他大学を受験して不合格すから、これが出てきます。当然、本科へ編

になつたりしていました。その間、親が入学金と前期授業料を払い込み、とうとう行くことになりました。

それでもまだ希望が捨てきれず、短大に通いながら、静岡の予備校へ通う準備をし始めました。

当時は、大学紛争の花盛りであり、日大三島校舎も例に漏れず、紛争の渦中にありました。少なからずロックアウトの影響を受ける中、授業数も少なく、大学側はピリピリしていましたが、多くのノンボリ

学生はのんびりしておりました。その内紛争も下火になり始め、前期試験は予定通り行われました。その結果予想もしていなかった特待生候補に名がのぼり、「授業料免除」

親が喜ぶぞと思ったのはつかの間、結局、大橋先生の体育理論の試験をサボって予備校の試験を受けに行き、それが赤点となつて、特待生は泡と消えました。しかし、その間、私の周りには沢山の友達が出来てきました。そして、人間と言うものは不思議なもので、この時に私のお生が決まったと言つても過言ではありません。建築つてこんなに楽しい

と感謝しております。そして、卒業して社会に出てからも多くの諸先生方のご指導・協力を頂きました。

日大万歳。

## 受賞を思い出として



国際関係学部校友会顧問

### 奥田 吉郎

今年の春の叙勲に際し、自治功労による旭日小綬賞を戴きました。

毎年、春と秋に行われる叙勲であります。私が、私の受章記を通して、そこで、多くの校友の皆さんと喜びを分かち合えることが出来たからこそ、この話であり、今後も校友を大いなるのを願い、感謝に代えたいと思います。

四月二十九日、昭和の日にちな

んで、閣議を経て決定し、新聞に発表されました。

五月一日、静岡県庁にて、石川嘉延知事より伝達されました。

授与式は、夫婦同伴で出席し、

勲記を受章者と、勲章を同伴者に、

知事から直接手渡す方式でした。

今年の春の叙勲では、私が一番最初に授与される光栄にあざかりました。

その後、県庁の正面玄関で、知事を中心に同記念写真をとりました。太陽がまぶしい位に、輝り、その光を受けて輝いて見えたのが強い印象でした。

その後、県庁の正面玄関で、知事を中心に同記念写真をとりました。太陽がまぶしい位に、輝り、その光を受けて輝いて見えたのが強い印象でした。

その後、天皇陛下の御歓迎を賜ることとなり、県下の受賞者夫妻と共に、都道府県会館の静岡県事務所に集合、バスにて、宮中に向いました。

バスは、坂下門より入り、豊明殿の前の広場で、この日の拝謁に参列する人々を乗せた、バス十数台の揃うのを待ち待機しました。

皇居は広く、大内山松の緑と呼ばれているが、松だけでなく、その他の樹木の緑も繁り、まさに万緑の世界でした。

最初は広く、大内山松の緑と呼ばれているが、松だけでなく、その他の樹木の緑も繁り、まさに万緑の世界でした。

その後、種々の経緯をたどって、

予科から教養部に替り、三年間

九九年七月二十八日に、当時所

属していた社団法人三島青年会議

所のメンバーと、頂上で野点を行いました。

その後、受賞者代表の謝辞があり、天皇陛下は、巡して皆に、ご会釈を賜りました。

毎に記念写真をとりました。

終つて、豊明殿の前で、バスの号車袖でした。

七月三日、奥田吉郎受章祝賀会を開催して頂きました。

五月十日、天皇陛下の拝謁を賜ることとなり、県下の受賞者夫妻と共に、都道府県会館の静岡県事務所に集合、バスにて、宮中に向いました。



国際関係学部校友会常任幹事  
横山 雅人

校友会の活動に携わって、沢山の先輩方や仲間と出会えた事、箱根駅伝や女子駅伝の応援に参加した

こと等とても良かったと思っていま

す。今後も微力ながら、会のお手伝

いをしていきたいと思います。

さて、私の趣味の一つに富士登山

があります。在学中はすぐ近くに駿河山から日本大学三島予科の門をくぐたのに、端を発しています。

そこで、この年に、三島予科の門

をくぐたのに、端を発しています。

そこで、この年に、三島予科の門

昭和五十二年一月、三島市長に初

空けて後段に同伴者が並びました。

天皇陛下は、左の扉より入居さ

れ、中央の壇上に進まれ、國や社会

に貢献した受賞者に感謝のお言葉

を賜りました。

その後、受賞者代表の謝辞があり、

天皇陛下は、巡して皆に、ご会釈



でしたが、それはまったく違う考え方で、委員長とは他の部員達の意見をまとめたり後輩達の失敗の責任をとるようになるということだと思いました。そして何より一番前に立つ人間は人とコミュニケーションを持つのが大切であるということを学びました。そのお陰で内向的であった私が多くの人と会話ができるようになりその人の会話の中で良い事は真似し、悪い事は決して自分はやらないなど多くの事を勉強できました。

私の大学生活は字を読み書きして勉強するだけでなく自分で考へる、行動する、人と会話するなど学校では教わらなかつた事を勉強することができます。この経験はこれから的人生で大きく活きていくと思います。これも体育会執行部第37代委員長を逃げる事なく勤めてきた事にあると思います。また面倒を見てくれた先輩方、支えてくれた仲間、後輩達に感謝の恩をもっています。またその部活を温かい目で見てくれていた教職員のみなさまにも感謝しています。ありがとうございました。

国際関係学科三年  
浅井 啓悟

私の大学生活は字を読み書きして勉強するだけでなく自分で考へる、行動する、人と会話するなど学校では教わらなかつた事を勉強することができます。この経験はこれから的人生で大きく活きていくと思います。これも体育会執行部第37代委員長を逃げる事なく勤めてきた事にあると思います。また面倒を見てくれた先輩方、支えてくれた仲間、後輩達に感謝の恩をもっています。またその部活を温かい目で見てくれていた教職員のみなさまにも感謝しています。ありがとうございました。

国際関係学科三年  
浅井 啓悟



年連続で全国大会に出場することになりました。それを決める試合に勝った瞬間は、十年以上野球をやつかったです。しかし、全国大会初戦では、東京ドームで先発投手として投げましたが、自分の実力を十分に發揮できず、サヨナラ負けを喫して悔しい思いをしました。三年連続で悔しい思いをしました。三年連続で悔しい思いをしました。三年連続で悔しい思いをしました。

私は今、本学硬式野球部に所属して野球を続けていることを誇りに思います。入学した当初は、みんなと一緒に楽しく野球をして、一度くらい全国大会に出場できればいいなと、軽い考えでした。しかし、一年生の時に全日本大学野球選手権大会に初出場し、東京ドームや神宮球場でプレーしている先輩方の姿を、自分があの舞台でプレーしたいと思いました。

それから野球に対する考え方方が変わり、野球中心の生活になります。またその部活を温かかけて徹底的に走り込みました。おそらく高校の時より多く走りました。試合で、どうしても練習時間がずれてしまうので、遅い時は夜の十時を過ぎることもありました。でも、それらおかげで技術・体力・精神力共に成長し、二年生の春季リーグ戦ではベンチ入りすることができました。試合にも多く出場し、念願の一

国際関係学科三年  
芹沢 崇



国際ビジネス情報学科三年  
芹沢 崇

大学にはたくさんいました。そのことに気づいた時から、私の大学生活への思いが変わりました。私は大学4年間を高校生活の「リベンジ」の4年間にしようと思いました。その意識を持つただけで私の生活は一変しました。そしておのずと結果も出きました。

大学の授業に関しては、「誰よりも良成績を残す」という気持ちで望み、その意識が最終成績にも残っていると思います。そして柔道部としての部活動も1年時から東海大会個人優勝を目指し、人の倍は練習したつもりです。そして、卒業した高校の環境があつたからだと思います。

私の高校は「文武両道」を根底に掲げ、毎年東京大学に十数名、学年の半分以上が早稲田大、慶應大に合格と同時に、ほとんどの体育系部活動が県大会上位という勉強で勝つ」ことを目標に日々努力していきたいと思います。

そして、監督・コーチをはじめ部員全員、自分を大学まで通わせてくれている家族のために、「全國で勝つ」ことを目標に日々努力していきたいと思います。

私は今では日本大学に入つたこと、日本大学の学生であることを誇ります。それは、私がこの充実した生活、すばらしい経験ができていたのは、この日本大学の環境があつたからこそだと思ってるからです。私はこの日本大学に感謝を言いたいです。そして、残りの大学生活もさらなる目標のため、高意識を持つ過ごしたいと思います。その上で、社会人としての自分も確実に築き上げていきたいと思います。

高校時代の影響か、私は見下しあた気持ちで入学してしまいました。しかしそれは、違いました。むしろ、私の感覚に近い人たちがこの

大学にはたくさんいました。そのことに気づいた時から、私の大学生活への思いが変わりました。私は大学4年間を高校生活の「リベンジ」の4年間にしようと思いました。その意識を持つだけで私の生活は一変しました。そしておのずと結果も出きました。

大学の授業に関しては、「誰よりも良成績を残す」という気持ちで望み、その意識が最終成績にも残っていると思います。そして柔道部としての部活動も1年時から東海大会個人優勝を目指し、人の倍は練習したつもりです。そして、卒業した高校の環境があつたからだと思います。

私の高校は「文武両道」を根底に掲げ、毎年東京大学に十数名、学年の半分以上が早稲田大、慶應大に合格と同時に、ほとんどの体育系部活動が県大会上位という勉強で勝つ」ことを目標に日々努力していきたいと思います。

そして、監督・コーチをはじめ部員全員、自分を大学まで通わせてくれている家族のために、「全國で勝つ」ことを目標に日々努力していきたいと思います。

私は今では日本大学に入つたこと、日本大学の学生であることを誇ります。それは、私がこの充実した生活、すばらしい経験ができていたのは、この日本大学の環境があつたからこそだと思ってるからです。私はこの日本大学に感謝を言いたいです。そして、残りの大学生活もさらなる目標のため、高意識を持つ過ごしたいと思います。その上で、社会人としての自分も確実に築き上げていきたいと思います。

# 平成 18 年度 事 業 報 告

## 1 国際関係学部校友会会長賞授与

平成18年度日本大学国際関係学部在学生から、次の者が国際関係学部長から推薦された。

・校友会会长賞（副賞：記念品）は、国際関係学部5名に贈られ平成19年3月25日の卒業式当日、ホテルパシフィック東京において授与式が行われた。

・校友会会长賞（副賞：奨学金）は、国際関係学部6名に贈られ4月4日開講式当日授与式が行われた。

①校友会会长賞（副賞：記念品）

田野口 翔太（国際関係学科4年）

室伏 弘己（国際ビジネス情報学科4年） 菅家 奈都美（国際関係学科4年）

宮本 卓枝（国際ビジネス情報学科4年）

②校友会会长賞（副賞：奨学金）

岩井小百合（国際交流学科3年） 鈴木 弘明（国際関係学科3年）

竹川浩一郎（国際文化学科3年） 長谷川 翼（国際交流学科3年）

浅井 啓悟（国際関係学科2年） 芹沢 崇（国際ビジネス情報学科2年）

## 1 日大スポーツツ55

1,500部を平成18年4月国際関係学部・短期大学部（三島）各学科の新入生全員に対して入学祝として渡した。

## 1 会報発行

会報37号を平成18年9月1日付け18頁3,000部を発行した。

## 1 各科同窓会等補助

①桜栄会会報発行及び名簿作成に対する補助。 ②大学の体育会に対する補助。

③箱根駅伝応援に対する補助。

## 1 常任幹事会

平成18年6月10日（土）16時から、三島グランドホテルにおいて開催した。

## 1 幹事会

平成18年6月10日（土）17時から、三島グランドホテルにおいて開催した。

## 1 総会並びに懇親会

平成18年7月29日（土）16時から、三島グランドホテルにおいて開催した。

## 1 箱根駅伝応援

平成19年1月3日（水）復路スタート応援地点で応援した。また、平成19年1月2日（往路）3日（復路）の両日、国際関係学部体育会ダンス部・文化会吹奏楽部が箱根で応援に花を添えた。

## 平成 18 年度 収 支 決 算 書

（平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日）

（単位:円）

支 出 の 部			収 入 の 部		
項 目	予 算 額	決 算 額	項 目	予 算 額	決 算 額
獎 学 費	620,000	615,930	4,070	会 費 収 入	14,780,000
日大スポーツ購入費	450,000	450,000	0	雜 収 入	14,689,600
校友会報発行費	220,000	233,100	△ 13,100	前 受 金 収 入	268,752
国際関係学部同窓会分配金	0	0	0	0	347,134
桜栄会分配金	0	0	0	0	0
各科同窓会等補助	2,230,000	830,000	1,400,000		
学生団体補助	600,000	900,000	△ 300,000		
総会並びに懇親会費	890,000	738,810	151,190		
箱根駅伝応援補助	330,000	515,200	△ 185,200		
本部校友会会費	470,000	470,000	0		
卒業記念品費	4,190,000	3,354,750	835,250		
議会合費	430,000	613,132	△ 183,132		
通信運搬費	210,000	175,350	34,650		
事務費	200,000	413,787	△ 213,787		
雑費	650,000	558,915	91,085		
予備費	110,000	0	110,000		
計	11,600,000	9,868,974	△ 1,731,026	計	15,048,752
基 金	入 額	0	0	基 金	出 額
次 年 度 繰 越 金	(前 受 金)	6,400,000	8,119,008	(前 年 度 繰 越 金)	0
(操 越 金)	(操 越 金)	( 6,400,000 )	( 8,119,008 )	( 6,400,000 )	( 8,119,008 )
支 出 の 部 合 計	18,000,000	17,987,982	12,018	収 入 の 部 合 計	18,000,000
					17,987,982
					12,018

## 貸 借 対 照 表

（平成 19 年 3 月 31 日現在）

（単位:円）

借 方		貸 方	
項 目	金 額	項 目	金 額
普 通 期 預 金	33,119,008	基 本 年 度 繰 越 額	25,000,000
定 期 預 金	0	前 本 年 度 繰 越 額	( 25,000,000 )
		次 年 度 繰 越 額	{ 0 }
		前 年 度 繰 越 額	{ 8,119,008 }
合 計	33,119,008	受 越 金 金 額	{ 0 }
		合 計	{ 8,119,008 }

## 基 金 の 内 訳

（単位:円）

項 目	前 年 度 繰 越 額	本 年 度 繰 入 額	合 计
基 金	25,000,000	0	25,000,000
計	25,000,000	0	25,000,000

平成 18 年度收支について、関係帳簿並びに証拠書類を精査いたしましたが、記帳その他正確であることを認めます。

平成 19 年 6 月 15 日

会計監査 染 谷 德 昭 守

## 平成 19 年度 事 業 計 画

- 1 国際関係学部校友会会長賞授与(副賞:記念品もしくは奨学金)  
 日本大学国際関係学部及び短期大学部を平成20年3月卒業・4月進級の予定者を対象とする。  
 ・校友会会长賞並びに記念品 国際関係学部 4年卒業予定者 各学科1名  
 短期大学部 2年卒業予定者 各学科1名  
 ・校友会会长賞並びに奨学金 国際関係学部 各学科2・3年生 各学年1名  
 短期大学部 各学科1年生 各1名
- 1 日大スポーツ06  
 1,500部を平成19年4月国際関係学部・短期大学部(三島)各学科の新入生全員に対して入学祝として渡す。
- 1 会報発行  
 会報38号(平成19年9月1日付)18頁 3,000部。
- 1 各科同窓会等補助  
 ①各科名簿編集の推進及び各科同窓会行事に対する補助。  
 ②大学体育会・文化会に対する補助。  
 ③箱根駅伝応援に対する補助。
- 1 常任幹事会  
 平成19年6月16日(土)16時30分から、日本大学国際関係学部校舎15号館1階において開催する。
- 1 幹事会  
 平成19年6月16日(土)17時30分から、日本大学国際関係学部校舎15号館1階において開催する。
- 1 総会並びに懇親会  
 平成19年7月14日(土)16時から、三島グランドホテルにおいて開催する。
- 1 箱根駅伝応援  
 平成20年1月3日(木)復路スタート応援地点で応援する。また、平成20年1月2日(水)往路ゴール応援地点及び平成20年1月3日(木)復路スタート応援地点で国際関係学部体育会所属(ダンス部)・文化会所属(吹奏楽部)の学生が応援に参加する。

## 平成 19 年度 収 支 予 算 書

(平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日)

(単位:円)

支 出 の 部				収 入 の 部			
項 目	本年度予算額	前年度予算額	差 額	項 目	本年度予算額	前年度予算額	差 額
奨 学 費	620,000	620,000	0	会 費 収 入	14,900,000	14,780,000	120,000
日大スポーツ購入費	450,000	450,000	0	雑 収 入	330,992	268,752	62,240
校友会報発行費	230,000	220,000	10,000	前 受 金 収 入	0	0	0
各科同窓会等補助	1,760,000	2,230,000	470,000				
学 生 団 体 補 助	1,200,000	600,000	600,000				
総会並びに懇親会費	900,000	890,000	10,000				
箱根駅伝応援補助	600,000	330,000	270,000				
本部校友会会費	470,000	470,000	0				
卒 業 記 念 品 費	4,040,000	4,190,000	△ 150,000				
会 議 会 合 費	620,000	430,000	190,000				
通 信 運 搬 費	200,000	210,000	△ 10,000				
事 務 費	420,000	200,000	220,000				
雑 費	600,000	650,000	△ 50,000				
予 備 費	100,000	110,000	△ 10,000				
計	( 12,210,000 )	( 11,600,000 )	( 610,000 )	計	15,230,992	15,048,752	182,240
基 金 繰 入 額	0	0	0	基 金 繰 出 額	0	0	0
次 年 度 繰 越 金	11,140,000	6,400,000	4,740,000	前 年 度 繰 越 金	8,119,008	2,951,248	5,167,760
(前 受 金)	( 0 )	( 0 )	( 0 )				
(繰 越 金)	( 11,140,000 )	( 6,400,000 )	( 4,740,000 )				
支 出 の 部 合 計	23,350,000	18,000,000	5,350,000	収 入 の 部 合 計	23,350,000	18,000,000	5,350,000

# 平成 19 年度役員

任期 (H18.4.1 ~ H21.3.31)

## 役 職 氏 名 (在学年度)

常任幹事	稻葉桂子 (60・61)
常任幹事	久保和之 (63・01)
常任幹事	廣岡達郎 (01~04)
常任幹事	齋藤 実 (01~04)
常任幹事	藤澤博隆 (03・04)
常任幹事	明石浩一 (05~09)
常任幹事	山瀬 匠 (08・09)
常任幹事	渡邊孝哉 (09・10)
会計監査	染谷徳昭 (42・43)
会計監査	宮川 守 (47・48)
<b>教 養</b>	
幹 事	高田日出太郎 (21)
幹 事	萩野新一郎 (21)
幹 事	馬場康夫 (21・22)
幹 事	清 好一 (21~23)
幹 事	石垣義親 (21~23)
幹 事	小野真一 (21~23)
幹 事	澤 直和 (21~23)
幹 事	滝川 昇 (22・23)
幹 事	高橋文吉 (22・23)
幹 事	堀井佳勇 (22・23)
幹 事	勝村一男 (22・23)
幹 事	筏 元 (22・23)
幹 事	中島知之 (22・23)
幹 事	溝口梅男 (22・23)
幹 事	中塙利雄 (22~24)
幹 事	北條 晃 (22~24)
幹 事	長田 渉 (22~24)
幹 事	山内 茂 (22~24)
幹 事	川口正信 (22~24)
幹 事	小林昭雄 (22~24)
幹 事	甲木康夫 (22~24)
幹 事	木村幸夫 (23~25)
幹 事	小林栄三 (23~25)
幹 事	勝俣敞充 (23~25)
幹 事	森下菊美 (23~25)
幹 事	播本 弘 (23~25)
幹 事	長谷川駿一 (23~25)
幹 事	徳増清二 (23~25)
幹 事	石野 進 (23~25)
幹 事	石垣恭弘 (23~25)
幹 事	井上忠彦 (23~25)
幹 事	杉山吉房 (23~25)
幹 事	服部房夫 (23~25)
幹 事	浅海武夫 (23~25)
幹 事	石川 進 (25・26)

## 役 職 氏 名 (在学年度)

会 長	相田信次 (44・45)
副 会 長	宮下公雄 (54~57)
副 会 長	高田菊平 (36)
副 会 長	山田浩子 (41・42)
副 会 長	小早川隆義 (42・43)
副 会 長	山崎光義 (44・45)
副 会 長	佐野茂子 (37・38)
副 会 長	弓場重明 (44・45)
幹 事 長	田中由雄 (42・43)
常任幹事	関野幹雄 (48・49)
常任幹事 (庶務担当)	関野浩二 (57~60)
常任幹事 (庶務担当)	野田正人 (62・63)
常任幹事 (庶務担当)	金田 豊 (23~25)
常任幹事	白鳥義仁 (25・26)
常任幹事	田村 実 (26・27)
常任幹事	鈴木義樹 (28・29)
常任幹事	市川紀子 (35・36)
常任幹事	久保田 勝 (38・39)
常任幹事	佐野勝己 (39・40)
常任幹事	土屋忠得 (40・41)
常任幹事	土屋貞明 (42・43)
常任幹事	渡辺忠昭 (42・43)
常任幹事	林田孝二 (43)
常任幹事	山口良児 (43・44)
常任幹事	平岩美知子 (44・45)
常任幹事	鈴木正八 (44・45)
常任幹事	濱田義之 (45)
常任幹事	久保田博明 (45・46)
常任幹事	遠藤晶子 (45・46)
常任幹事	榎本睦美 (45・46)
常任幹事	西野和衛 (46・47)
常任幹事	江本博勝 (46・47)
常任幹事	神戸絹代 (47・48)
常任幹事	瀬川 宏 (47・48)
常任幹事	大島裕二 (52・53)
常任幹事	露木ひろみ (53・54)
常任幹事	斎藤 聰 (54~57)
常任幹事	柳川浩昭 (54~57)
常任幹事	高野真一 (54~57)
常任幹事	守野敏也 (55・56)
常任幹事	木村貴美和 (55~58)
常任幹事	横山雅人 (56~59)
常任幹事	小松徳弘 (56~59)
常任幹事	高野 誠 (57~60)
常任幹事	山本宏治 (57~60)
常任幹事	勝又義博 (57~60)

## 役 職 氏 名 (在学年度)

顧 問	西村美枝子 (22~24)
顧 問	中嶋信行 (23~25)
顧 問	奥田吉郎 (23~25)
顧 問	瀬川一男 (23~25)
顧 問	鈴木邦良 (27・28)
顧 問	石川貞夫 (28・29)
顧 問	小椋貞夫 (28・29)
顧 問	角田義廣 (30・31)
顧 問	平井千枝 (34・35)
顧 問	柴田 正 (41・42)
参 与	渡辺洋子 (35・36)
参 与	岩崎一雄 (43・44)
参 与	板垣和代 (36・37)

役	職	氏名(在学年度)
幹	事	加藤 久貴(46・47)
幹	事	秋山 稔明(46・47)
幹	事	前田 正丈(47・48)
幹	事	野田 栄(47・48)
幹	事	多田 清吾(47・48)
幹	事	辻本 真由美(51・52)
幹	事	濱田 順二(53・54)
幹	事	吉川 浩司(54・55)
幹	事	後藤 幸江(58・59)
幹	事	斎藤みどり(59・60)
幹	事	長澤 裕子(59・60)
幹	事	中村由美子(61・62)
幹	事	南 まり子(03・04)
幹	事	小池 恭子(04・05)
幹	事	白川 美保(05・06)
幹	事	小柴 慶子(06・07)
幹	事	勝又 美咲(16・17)
<b>商経・二部</b>		
幹	事	津田 正克(50・51)
幹	事	後藤 善夫(52・53)
幹	事	加藤 喜章(53・54)
幹	事	鈴木 理平(54・55)
幹	事	内野 祥司(55・56)
幹	事	杉山 勝行(57・58)
幹	事	鈴木 文量(59・60)
幹	事	武井 直子(60・61)
幹	事	土佐谷 泰子(61・62)
幹	事	田伏 正和(01・02)
幹	事	名雪しげみ(01・02)
幹	事	菅江 稔(02・03)
幹	事	明石知恵美(02・03)
幹	事	川原 浩貴(03・04)
幹	事	小野 和彦(03・04)
幹	事	坂口 聖剛(03・04)
幹	事	今川 高宏(04・05)
幹	事	町野 智彦(05・06)
幹	事	池田 昌史(08・09)
幹	事	成田 伸行(08・09)
<b>桜栄会</b>		
幹	事	山口 玲子(34・35)
幹	事	阿部 麻子(35・36)
幹	事	木崎有里子(35・36)
幹	事	渡辺かよ子(35・36)
幹	事	小泉 陽子(36・37)
幹	事	中村満里子(37・38)
幹	事	川口 裕子(37・38)
役	職	氏名(在学年度)
幹	事	大西 良雄(37)
幹	事	小川 武司(37)
幹	事	多田清太郎(37)
幹	事	坂口 正剛(37)
幹	事	小石川宣照(37)
幹	事	勝亦 誠(38)
幹	事	栗山 康雄(39)
幹	事	杉田 朋昭(39)
幹	事	両角 勇(42)
幹	事	鈴木 允(48)
幹	事	高藤省三(49)
幹	事	滝本 博(53)
<b>桜文会</b>		
幹	事	岩崎 尚枝(41・42)
幹	事	小永井京子(43・44)
幹	事	高橋真理子(44・45)
幹	事	石井千枝子(46・47)
幹	事	松村 啓子(51・52)
幹	事	佐野 有美(52・53)
幹	事	大塚 久子(52・53)
幹	事	瀬川 晶子(52・53)
幹	事	武田 裕美(55・56)
幹	事	勝亦 幾代(56・57)
幹	事	北川 早苗(56・57)
幹	事	山崎 瞳子(57・58)
幹	事	高野 直美(58・59)
幹	事	阿部 昭子(59・60)
幹	事	神田 留美子(60・61)
幹	事	橋本 由恵(62・63)
幹	事	白石 忍(63・1)
幹	事	渡邊 陽子(01・02)
幹	事	小川 真弓(03・04)
幹	事	片柳 容子(03・04)
幹	事	秋山 陽子(04・05)
幹	事	松本佳代子(05・06)
幹	事	古屋 美帆(06・07)
幹	事	渡辺さゆり(06・07)
幹	事	小林 昌子(07・08)
幹	事	山崎 幸恵(08・09)
幹	事	佐野 隆子(09・10)
幹	事	成島 敦子(09・10)
幹	事	星 美保子(10・11)
幹	事	工藤 美咲(10・11)
<b>商経・一部</b>		
幹	事	萩野谷 肇(41・42)
幹	事	上田 定義(41・42)
役	職	氏名(在学年度)
幹	事	矢澤 知秋(25・26)
幹	事	長倉 祐作(25・26)
幹	事	宮崎 茂樹(25・26)
幹	事	光信 儀(26・27)
幹	事	浅原 好胤(26・27)
幹	事	高橋 英明(26・27)
幹	事	荒川 通(26・27)
幹	事	塩田 浩(26・27)
幹	事	大井 徹也(26・27)
幹	事	稻葉 昭(26・27)
幹	事	熊崎 文二(26・27)
幹	事	輿水 啓一(26・27)
幹	事	廣田 均(26・27)
幹	事	栗原 恒夫(26・27)
幹	事	後藤 守雄(26・27)
幹	事	黒滝 祐司(27・28)
幹	事	小林 義尚(27・28)
幹	事	田村 栄一(27・28)
幹	事	関本文彦(27・28)
幹	事	真部 喜孝(27・28)
幹	事	結城 勇一(27・28)
幹	事	長沢 龍助(27・28)
幹	事	佐々木 凱男(27・28)
幹	事	川崎 一成(27・28)
幹	事	丸山 富美男(28)
幹	事	坂詰 正衛(28・29)
幹	事	望月 知林(28・29)
幹	事	安東 安生(29・30)
幹	事	田嶋 文義(29・30)
幹	事	寺崎 哲郎(29・30)
幹	事	関 哲男(29・30)
幹	事	林田 達郎(29・30)
幹	事	森 伸夫(30・31)
幹	事	道見 俊廣(30・31)
幹	事	小野 武(30・31)
幹	事	馬場 妙子(30・31)
幹	事	屋舗 公平(30・31)
幹	事	堀 幸男(30・31)
幹	事	根岸 元宏(31・32)
幹	事	渡部 浩司(31・32)
幹	事	大村 日出雄(32)
幹	事	甲田 知由(33)
幹	事	吉野 洋一(35)
幹	事	鈴木 肇(35)
幹	事	御供 政紀(35・36)
幹	事	小澤 文郎(36)

役	職	氏名(在学年度)
幹	事	勝俣千穂(01・02)
幹	事	高田香世子(01・02)
幹	事	田村尚子(01・02)
幹	事	杉村智恵(01・02)
幹	事	湯原里美(01・02)
幹	事	久保田裕子(・)
幹	事	市川智香(02・03)
幹	事	岡本ゆう子(02・03)
幹	事	大山妙子(02・03)
幹	事	羽田真理子(02・03)
幹	事	望月ゆりか(03・04)
幹	事	安田ひとみ(03・04)
幹	事	鈴木春美(03・04)
幹	事	瀬戸直子(03・04)
幹	事	宮本久美子(03・04)
幹	事	渡邊真理子(03・04)
幹	事	小澤知子(04・05)
幹	事	斎藤香江子(04・05)
幹	事	海老沢幸子(04・05)
幹	事	井上雅代(04・05)
幹	事	西岡直子(04・05)
幹	事	田村美保(04・05)
幹	事	原田愛(05・06)
幹	事	西山志保(05・06)
幹	事	関谷園子(05・06)
幹	事	渡邊千史(05・06)
幹	事	川口由美子(05・06)
幹	事	池谷尚美(05・06)
幹	事	中村理恵子(05・06)
幹	事	遠藤理愛(05・06)
幹	事	神尾かおり(06・07)
幹	事	遠藤里都美(06・07)
幹	事	鈴木寛子(06・07)
幹	事	山本静香(06・07)
幹	事	佐藤純子(06・07)
幹	事	三須洋美(06・07)
幹	事	齊藤真由美(07・08)
幹	事	遠藤久美(07・08)
幹	事	小野澤美和(07・08)
幹	事	小林世以子(07・08)
幹	事	中林香子(07・08)
幹	事	水谷鯉恵(07・08)
幹	事	横田忍(07・08)
幹	事	中橋智子(08・09)
幹	事	神戸アリ沙(08・09)
幹	事	兼房華(08・09)
幹	事	長田智子(53・54)
幹	事	押見恵美子(53・54)
幹	事	船石圭子(53・54)
幹	事	四條里美(53・54)
幹	事	鷺巣かほる(53・54)
幹	事	藤原和美(54・55)
幹	事	原田純子(54・55)
幹	事	池谷美津子(54・55)
幹	事	中澤由利子(54・55)
幹	事	佐伯絵里子(54・55)
幹	事	伊藤若菜(54・55)
幹	事	吉田麻理子(55・56)
幹	事	野中美香(55・56)
幹	事	藤田建江(56・57)
幹	事	小澤里佳子(56・57)
幹	事	深津久美子(56・57)
幹	事	石谷美智子(57・58)
幹	事	田中恵子(57・58)
幹	事	嶋由樹子(57・58)
幹	事	鈴木江利子(57・58)
幹	事	野中美香(・)
幹	事	西田昭子(58・59)
幹	事	鈴木敦子(58・59)
幹	事	武藤さゆり(58・59)
幹	事	荻沢洋子(58・59)
幹	事	平澤佳代子(58・59)
幹	事	山田明子(58・59)
幹	事	谷井かほる(・)
幹	事	鈴木佳乃(59・60)
幹	事	塩崎朝子(59・60)
幹	事	加藤容子(59・60)
幹	事	藤波佳乃(59・60)
幹	事	藤井由紀子(60・61)
幹	事	穂谷野弥生(60・61)
幹	事	小島みちよ(61・62)
幹	事	久保玲華(61・62)
幹	事	杉本朋子(61・62)
幹	事	袴田則子(62・63)
幹	事	鷺尾貴子(62・63)
幹	事	田上順子(62・63)
幹	事	山口美樹(62・63)
幹	事	大須賀美穂(63・01)
幹	事	櫻田智栄美(63・1)
幹	事	三宅理砂子(63・1)
幹	事	野上香(63・1)
幹	事	日吉美由紀(63・1)
幹	事	米山日出子(37・38)
幹	事	小坂照子(38・39)
幹	事	塩谷まさよ(38・39)
幹	事	井原康恵(・)
幹	事	金井美智(・)
幹	事	望月千登子(・)
幹	事	秋山幸子(39・40)
幹	事	関口瑞(39・40)
幹	事	福尾つや子(39・40)
幹	事	浅田義志子(・)
幹	事	神部文子(・)
幹	事	高橋美鶴(40・41)
幹	事	伊達伸子(・)
幹	事	石黒栄美子(41・42)
幹	事	鳥羽山資子(41・42)
幹	事	駿藤春代(42・43)
幹	事	石原泰予(42・43)
幹	事	篠田光代(42・43)
幹	事	影山貴美枝(43・44)
幹	事	土屋時子(43・44)
幹	事	柴田敬子(44・45)
幹	事	川村千代子(45・46)
幹	事	辻緑(45・46)
幹	事	鈴木清美(46・47)
幹	事	佐藤奈津美(47・48)
幹	事	鈴木佳津江(47・48)
幹	事	神田みつ子(47・48)
幹	事	勝又昌代(48・49)
幹	事	原康子(48・49)
幹	事	碓井久美子(49・50)
幹	事	岩田智加子(50・51)
幹	事	大沼めぐみ(50・51)
幹	事	峰田富美子(51・52)
幹	事	山口智佳子(51・52)
幹	事	堤令子(52・53)
幹	事	白井道代(52・53)
幹	事	石橋治代(52・53)
幹	事	岩崎美浪(52・53)
幹	事	竹内厚子(52・53)
幹	事	宮沢正江(52・53)
幹	事	遠藤豊美(52・53)
幹	事	長谷川規子(52・53)
幹	事	松川順子(52・53)
幹	事	松崎光子(52・53)
幹	事	中澤小雪(53・54)
幹	事	齋藤裕子(53・54)

役	職	氏名(在学年度)	役	職	氏名(在学年度)	役	職	氏名(在学年度)
幹	事	福田勝弘(56~59)	幹	事	渡邊尚(16·17)	幹	事	長倉智恵子(08·09)
幹	事	宇田隆康(56~59)	幹	事	木下友理(16·17)	幹	事	大塚由香(08·09)
幹	事	齋藤史男(56~59)	幹	事	鈴木佳奈子(16·17)	幹	事	白取京子(08·09)
幹	事	三浦仁(57~60)	幹	事	中西麻純(16·17)	幹	事	佐藤美幸(09·10)
幹	事	横田正(57~60)	幹	事	増島清美(16·17)	幹	事	青木由佳(09·10)
幹	事	森田克彦(58~61)	幹	事	萩原美香(16·17)	幹	事	田村理絵(09·10)
幹	事	佐上菊二(58~61)	幹	事	平川綾乃(16·17)	幹	事	内田恵(09·10)
幹	事	小塚敏久(58~61)	幹	事	綾部久美子(16·17)	幹	事	渡邊明子(09·10)
幹	事	横溝泰蔵(59~62)	幹	事	松永理沙(16·17)	幹	事	植野敦子(09·10)
幹	事	池尻敏広(59~62)	幹	事	隅田優美(17·18)	幹	事	佐野文美(10·11)
幹	事	山田竜作(60~63)	幹	事	飯田泰恵(17·18)	幹	事	秋山左知子(11·12)
幹	事	土田洋二(60~63)	幹	事	石川裕里佳(17·18)	幹	事	鞍本鮎美(11·12)
幹	事	桑原健治(60~63)	幹	事	田顔朋美(17·18)	幹	事	尾間裕仁(11·12)
幹	事	渡辺武一郎(60~63)	幹	事	田中沙季(17·18)	幹	事	笹原奈津子(11·12)
幹	事	木俣かおり(61~01)	幹	事	堀田裕貴(17·18)	幹	事	宮田朋子(11·12)
幹	事	増原伸一(61~01)	幹	事	吉田ルミ(17·18)	幹	事	田角典子(12·13)
幹	事	五十嵐公喜(62~02)	幹	事	井形歩(17·18)	幹	事	小林由佳(12·13)
幹	事	犬塚重暁(63~03)	幹	事	瀧智草(17·18)	幹	事	赤川智海(12·13)
幹	事	野口厚(63~03)	工科			幹	事	小出祐子(12·13)
幹	事	藤田隆(63~03)	幹	事	宮下正俊(39·40)	幹	事	峯松園美(13·14)
幹	事	佐藤淳悦(01~04)	幹	事	菅沼弘(39·40)	幹	事	山田美穂(13·14)
幹	事	高橋博樹(01~04)	幹	事	中山義昭(41·42)	幹	事	遠藤智海(13·14)
幹	事	工藤典子(01~04)	幹	事	渡辺清(42·43)	幹	事	清水磨希子(13·14)
幹	事	長谷川哲夫(01~04)	幹	事	赤地哲也(42·43)	幹	事	高橋由実(13·14)
幹	事	村上東洋男(01~04)	幹	事	吉田力(44·45)	幹	事	米永寿子(13·14)
幹	事	鈴木芳典(01~04)	幹	事	長倉良幸(44·45)	幹	事	渡邊晃子(13·14)
幹	事	須田啓一郎(01~04)	幹	事	早川清文(45·46)	幹	事	岩田直子(14·15)
幹	事	原田恭平(01~04)	幹	事	三枝和彥(46·47)	幹	事	大沼秋桜子(14·15)
幹	事	椿昌宏(01~04)	幹	事	勝間田太住(47·48)	幹	事	高橋美絵(14·15)
幹	事	南敦子(02~05)	幹	事	天野寿一(48·49)	幹	事	石渡麻史(14·15)
幹	事	門脇正明(02~05)	幹	事	上原豊和(52·53)	幹	事	服部直美(14·15)
幹	事	藤原誠吾(02~05)	幹	事	西家勝彦(52·53)	幹	事	秋山絵操(14·15)
幹	事	前田智也(02~05)	幹	事	藤本文彦(52·53)	幹	事	山田真理子(15·16)
幹	事	坂井利彰(02~05)	幹	事	埜村光伸(53·54)	幹	事	田中順子(15·16)
幹	事	小田純子(02~05)	幹	事	勝呂千明(53·54)	幹	事	栗田裕子(15·16)
幹	事	田辺裕司(02~05)	幹	事	鈴木啓太郎(54·55)	幹	事	小林久美(15·16)
幹	事	田松正樹(02~05)	学部			幹	事	河原崎朱里(15·16)
幹	事	鎌田文一(02~05)	幹	事	遠藤日出夫(37·)	幹	事	平澤怜子(15·16)
幹	事	沼尻正則(03~06)	幹	事	渡辺博夫(37·)	幹	事	榎原友希(15·16)
幹	事	若松はるか(03~06)	幹	事	江川洋(42·)	幹	事	田村美沙子(15·16)
幹	事	三宅大介(03~06)	幹	事	藤幡俊量(46·)	幹	事	植松明菜(15·16)
幹	事	清水建(03~06)	国際			幹	事	荻島宏予(15·16)
幹	事	小塚達郎(03~06)	幹	事	松原裕二(54~57)	幹	事	渡邊裕未( · )
幹	事	金枝あや(03~06)	幹	事	川口智彦(54~57)	幹	事	山田沙織( · )
幹	事	池田律子(03~06)	幹	事	諏訪部健(55~58)	幹	事	宇野浩吏(16·17)
幹	事	紅林美智子(03~07)	幹	事	平野雅之(56~59)	幹	事	星野成幸(16·17)

役	職	氏名(在学年度)
幹	事	深川 大(14~17)
幹	事	綱島 昇(14~17)
幹	事	塚田 泰章(14~17)
幹	事	杉町カウエ(14~17)
幹	事	小川 淳(14~17)
幹	事	内村 彩(14~17)
幹	事	渡邊 賢治(14~17)
幹	事	藁谷 和正(17·18)
幹	事	井所 博志(15~18)
幹	事	金田 亜由美(15~18)
幹	事	橋本 流音(15~18)
幹	事	小倉 宏紀(15~18)
幹	事	宮腰 治憲(15~18)
幹	事	田野口 眞太(15~18)
幹	事	室伏 弘己(15~18)
幹	事	菅家奈都美(15~18)
幹	事	宮本 卓技(15~18)
幹	事	鈴木 亜希子(12·13)
幹	事	園部 真子(12·13)
幹	事	長谷川 郁子(11~14)
幹	事	松下 夏葉(11~14)
幹	事	竹腰 真裕子(11~14)
幹	事	後藤 暢宏(11~14)
幹	事	竹村 直(11~14)
幹	事	木下 真由美(11~14)
幹	事	小森 美雪(11~14)
幹	事	若月 朋子(11~14)
幹	事	杉野 美紀(11~14)
幹	事	斎藤 久美絵(11~14)
幹	事	川村 友江(11~14)
幹	事	猪狩 博織(11~14)
幹	事	山下 政幸(11~14)
幹	事	小林 久美(11~14)
幹	事	堀本 晴子(11~14)
幹	事	鈴木 さや夏(13·14)
幹	事	村山 景子(13·14)
幹	事	川下 知恵(12~15)
幹	事	鹿内 隼人(12~15)
幹	事	斎藤 慎亮(12~15)
幹	事	山本 克幸(12~15)
幹	事	川居 多希子(12~15)
幹	事	拓植 由美子(12~15)
幹	事	豊永 有美子(12~15)
幹	事	原 順子(12~15)
幹	事	平野 文星(14·15)
幹	事	小澤 有礼(12~15)
幹	事	大野 達男(12~15)
幹	事	太田 孝一(13~16)
幹	事	高巣 幸喜(13~16)
幹	事	山川 利雄(13~16)
幹	事	浅野 雄介(13~16)
幹	事	新居 優子(13~16)
幹	事	筒井 友恵(13~16)
幹	事	本多 加奈(13~16)
幹	事	山本 彩子(13~16)
幹	事	小栗 美緒(13~16)
幹	事	勅使河原 武史(13~16)
幹	事	相見 大輔(13~16)
幹	事	板橋 紗綾香(13~16)
幹	事	武田 泰弘(13~16)
幹	事	浅石 友里子(13~16)
幹	事	渡邊 頌子(13~16)
幹	事	岩崎 康全(13~16)
幹	事	伊藤 敦(04~07)
幹	事	佐藤 治夫(04~07)
幹	事	千野 琢磨(04~07)
幹	事	日宇 功太(04~07)
幹	事	渡辺 将之(04~07)
幹	事	杉山 文予(05~08)
幹	事	江島 照美(05~08)
幹	事	室伏 寛美(05~08)
幹	事	田尻 美三(05~08)
幹	事	青木 徹(05~08)
幹	事	大嶽 龍一(05~08)
幹	事	沖倉 保宏(06~09)
幹	事	今川 慶(06~09)
幹	事	田中 智康(06~09)
幹	事	久芳 仁(06~09)
幹	事	植松 信二(06~09)
幹	事	小林 寿成(07~10)
幹	事	望月 雅子(07~10)
幹	事	斎藤 美根子(07~10)
幹	事	纏 繼健太(07~10)
幹	事	大越 久美子(07~10)
幹	事	佐竹 篤(07~10)
幹	事	小泉 梨恵(07~10)
幹	事	高島 寛幸(08~11)
幹	事	正木 創一(08~11)
幹	事	関根 大助(08~11)
幹	事	井上 善史(08~11)
幹	事	登ヶ谷 祐人(08~11)
幹	事	金子 浩二(08~11)
幹	事	早乙女 桂子(08~11)
幹	事	内田 修(08~11)
幹	事	成田 哲浩(09~12)
幹	事	八木 美由紀(09~12)
幹	事	清水 大督(09~12)
幹	事	川合 貴子(09~12)
幹	事	井上 明子(09~12)
幹	事	徳田 瑞希(09~12)
幹	事	斎藤 真規(10~13)
幹	事	長岡 福也(10~13)
幹	事	上西 智史(10~13)
幹	事	筒井 靖子(10~13)
幹	事	杉山 祥啓(10~13)
幹	事	渡辺 梓(10~13)
幹	事	大津 留真紀(10~13)
幹	事	大友 仁美(10~13)
幹	事	佐野 京子(12·13)

## 校友会だより

### 国際関係学部校友会



国際関係学部校友会

監査報告

役員に関する件

平成十八年度事業計画(案)

会報(第三十七号)掲載原稿募集

について

各科活動報告

その他

田中由雄幹事長から、平成十七年

度事業報告がなされ、続いて平成十七

年度決算報告が野田正人常任幹事会

計担当から報告、染谷徳昭会計監査

から監査報告があり、それぞれ承認さ

れた。

田中由雄幹事長から、会長交替に伴

う変更人事が提案された。柴田正会

長が顧問に板垣和代副会長が参与に、

後任として、相田信次副会長が会長に、

佐野茂子幹事・弓場重明常任幹事が

副会長にまた、角田義廣前事務局長が

顧問に、瀬川宏・濱田義之幹事が常任

幹事に、国際関係学部・商経学科・食

物栄養学科を合わせ百二十六名を新

幹事とし承認された。

続いて平成十八年度事業計画(案)

及び平成十八年度予算(案)について審

議され、承認された。二案について案の

削除とした。

会報三十七号への校友からの掲載原

稿募集の依頼があり、各科活動報告に

ついては、佐野茂子新副会長から第四

十六回桜栄会総会について報告があつ

た。

その他として相田信次新会長から、

本部校友会主催各種会議の年間報告

一 平成十七年度事業報告

一 平成十七年度決算報告

と本部校友会への正会員加入促進の情宣活動をお願いがなされた。齋藤聰常任幹事の閉会のことばとしました。

総会終了後、会場をダイヤモンドに移し懇親会を開催した。田中由雄幹事長の司会で進行され、佐野茂子副会長挨拶の後、来賓挨拶として安西偕二郎副総長・田中英壽校友会会长の祝辞があった。来賓紹介の後、山内薬学部校友会会长による乾杯のご発声で懇談に移った。校友の鈴木允氏の指揮のもと応援歌、校歌齊唱となり、高野誠常任幹事により万歳三唱・弓場重明副会長の閉会のことばをもつて閉会となた。

会長挨拶の後、来賓挨拶として安西偕二郎副総長・田中英壽校友会会长の祝辞があった。来賓紹介の後、山内薬学部校友会会长による乾杯のご発

声で懇談に移った。校友の鈴木允氏の指揮のもと応援歌、校歌齊唱となり、高野誠常任幹事により万歳三唱・弓場重明副会長の閉会のことばをもつて閉会となた。

(文責 渡邊)



桜 栄 会



国際関係学部同窓会

# 日本大学国際関係学部校友会会則

## 第一章 総 則

### (名 称)

第1条 本会は日本大学国際関係学部校友会と称する。

### (事務局)

第2条 本会は事務局を静岡県三島市文教町2丁目31番145号に置く。

## 第二章 目的及び事業

### (目 的)

第3条 本会は会員相互の親睦と融和をはかり母校の発展に寄与すると共に母校建学の理念を社会に拡充することを目的とする。

### (事 業)

第4条 本会は前条目的達成のために次の事業を行う。

- 1 会報発行・会員名簿の作成
- 2 会員相互の親睦と融和をはかるための諸事業
- 3 母校の発展興隆に関する諸事業への協力参加
- 4 その他目的達成のために必要な諸事業

## 第三章 会 員

### (会員構成)

第5条 本会は日本大学三島予科・三島教養部・文理学部三島・短期大学部三島・国際関係学部・大学院国際関係研究科の出身者および在籍した者による正会員と幹事会において本会に關係が深く功労があると認められた特別会員・名誉会員並びに準会員である国際関係学部(大学院含む)・短期大学部三島の在学生。但し議決権は有しない準会員により構成する。

### (会 費)

第6条 会員は規程の定めるところにより、会費を納入しなければならない。

- 2 会費及び徵収方法は別に定める。
- 3 特別会員・名誉会員は会費を徵収しないものとする。

## 第四章 役 員

### (役員構成)

第7条 本会に次の役員を置く。

- 会 長 1名  
副 会 長 若干名  
幹 事 長 1名  
常 任 幹 事 若干名  
幹 事 若干名  
会 計 監 査 2名

### (顧問・参与)

第8条 本会は顧問・参与を置くことができる。

- 2 顧問・参与は幹事会の議を経て会長が委嘱する。

### (役員の選出)

第9条 会長は会長・副会長会議で推薦され、総会にて承認を得るものとする。

- 2 副会長は国際関係学部校友会を構成する各同窓会会长或は在学した者の代表者とし、常任幹事会に報告するものとする。
- 3 幹事長は常任幹事から会長が推薦し、常任幹事会に報告するものとする。
- 4 常任幹事から庶務担当・会計担当を幹事長が指名し、会長・副会長会議に報告するものとする。

### (任 期)

第10条 各役員の任期は3年とする。但し再任は妨げない。

- 2 欠員が生じたときは、必要に応じて補選し、その任期は前任者の残存期間とする。
- 3 任期満了した場合においても、後任者が就任するまでの間その職務を行う。

### (役員の職務)

第11条 会長は本会を代表し会務を総括する。

- 2 副会長は会長を補佐し、会長事故あるときはその職務を代行する。
- 3 幹事長は事務を統括し、本会運営に必要な一切の事務事項を遂行する。
- 4 常任幹事は幹事の互選により選出し、常任幹事会を構成、本会業務の遂行にあたる。
- 5 幹事は幹事会を構成し、本会運営の諸事項の議決にあたる。
- 6 顧問・参与は本会の重要事項につき、会長の諮問に応ずるものとする。

## 第五章 会 議

### (会議及び議決方法)

第12条 本会の会議は、総会・会長、副会長会議・常任幹事会・幹事会の4種とする。

2 会議は会長が招集し、議長団はその都度選出する。

3 やむを得ない場合は、常任幹事会及び幹事会をもって総会に代ることができる。

### (会議の構成及び開催)

第13条 本会は目的達成のため下記の機関を置く。

2 総会は本会運営上の諸事項についての報告を受けこれを承認する。

総会は年1回開催するものとし会長がこれを招集する。

3 常任幹事会は常任幹事以上の役員を以て構成し本会の執行機関として本会の実質的運営にあたる。常任幹事会は必要に応じて隨時会長がこれを招集する。常任幹事3分の1以上の要求があった場合はこれを招集しなければならない。

4 幹事会は総会の代行機関として第14条の事項を付議し、これを議決する。

幹事会は年1回以上開催するものとし会長がこれを招集する。幹事3分の1以上の要求があった場合は臨時に招集しなければならない。

5 事務局は幹事長指示のもと会員相互の連絡及び各会議の議事の収録並びに運営に必要な一切の事務を行う。

### (総会の審議)

第14条 総会は次の事項を審議し議決する。

1 会則及び重要規定の制定、改廃に関する事項。

2 事業計画に関する事項。

3 予算・決算に関する事項。

4 会長の選任に関する事項。

5 その他第4条に基づいて必要と認められた事項。

## 第六章 支 部

### (支部の設置)

第15条 本会は円滑な発展と交流の促進のために支部を設けることができる。

2 支部の設置条件及び方法は別に定める。

## 第七章 会 計

### (会計年度)

第16条 本会の会計年度は4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

### (経費)

第17条 本会の経費は、会費並びに寄付金その他の収入を以てこれを充てる。

### (会計監査)

第18条 会計監査は本会会計及び財務について監査し、その結果を総会にて報告する。

## 第八章 会 則

### (会則変更)

第19条 本会の会則の変更は総会の議を経てこれを決する。

### (会則の遵守)

第20条 国際関係学部校友会は日本大学校友会会則及び支部規程を遵守しなければならない。

### (施行細則)

第21条 この会則に必要な細則は会長・副会長会議及び常任幹事会の議決を経て会長がこれを施行する。

## 第九条 表 彰

### (表彰)

第22条 本会の目的及び事業に貢献した者は幹事会の議を経て、これを賞することができる。

## 第十章 除 名

### (会員除名)

第23条 会員が次の事項に該当した行為があったときは幹事会の議を経て除名することができる。

1 国際関係学部の名誉を傷つけ、また校友としての品位を害する言動があったとき。

2 校友会の秩序を乱したとき。

3 故意または重大な過失により校友会に損害を与えたとき。

付 則 本会則は平成18年4月1日より施行する。

# 日本大学校友会組織図

日本大学校友会(校友会本部事務局)

都道府県支部(65 支部)

北海道ブロック(札幌・旭川・稚内・小樽・帯広・留萌・苫小牧・網走・釧路)  
東北ブロック(青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島)  
関東ブロック(茨城・栃木・群馬・埼玉・千葉・神奈川・川崎・山梨)  
東京ブロック(東京都第一・東京都第二・東京都第三・東京都第四・東京都第五・  
東京都第六・東京都第七)  
東海ブロック(岐阜・静岡・愛知・三重)  
北信越ブロック(新潟・富山・石川・福井・長野・長野北信)  
近畿ブロック(滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山)  
中国ブロック(鳥取・島根・岡山・広島・山口)  
四国ブロック(徳島・香川・愛媛・高知)  
九州ブロック(福岡・北九州・佐賀・長崎・佐世保・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄)

学部別部会(16 部会)

本部大学院・法・文理・経済・商・芸術・国際・理工・生産工・工・医・歯・松戸歯・生物資源科・薬・通信

職域別部会(4 部会)

全国桜師会・桜門会計人会・日本大学法曹会・全国桜門スポーツ部会

桜門会

海外特別支部(7 支部)

韓国・ブラジル・ロサンゼルス・台湾・サンフランシスコ・スペイン・ニューヨーク

# 日本大学国際関係学部校友会組織図

国際関係学部校友会  
(旧三島同窓会)

国際関係学部同窓会

短期大学部  
桜文会(国文・英文)  
商科同窓会(1・2部)  
桜栄会(家政・食栄・生活)  
工科同窓会(建築・機械)

三島予科  
三島教養部  
文理学部(三島)